

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1	<p>2015年8月下旬から9月上旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2015年5月下旬から6月上旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。なお、政府の景気認識については月例経済報告の中でお示しているのをご参照ください。</p>	悪くなっている	<p>在庫伸び率が上昇する中、賃金上昇は減速し消費関連指標は伸び悩み、輸出も今ひとつ改善していない。物価については、日銀が新たに公表する消費者物価指数(除く生鮮食品、エネルギー)が改善傾向を示している。政策面では、TPPの進展はあるものの、骨太方針に新しい政策(終末期医療の言及など)に関する具体策は少なかった。安保法案の議論が経済議論に影を落とし、第二、第三の矢が減速している。惰性で株価は安定していたため政策の危機感が薄まったと言えよう。設備投資の促進が最大な話題となるだろう。</p>
デフレ脱却・経済再生を確実にするための取組			
2 - 1	<p>(別紙5)の1.(1)のとおり、経済財政諮問会議ではデフレからの脱却、経済の好循環の拡大に向けた取組を進めていくこととしておりますが、現場の実情や地域の視点から特に強化・加速すべきとお考えになる取組について具体的なご意見がございましたら300字以内でご記入ください。</p>	-	<p>労働力人口が減少するなかで2%の成長率を目指すならば、資本蓄積や全要素生産性(TFP)を大きく加速すべき。設備投資が年率8%以上に伸びる必要がある。全業界の中小企業の労働代替投資(特に、医療、福祉、教育、外食、宿泊)を焦点にすべき。法人税の更なる減税も、医療制度で患者コスト意識の改善も、教育のIT化も肝心。</p>
2 - 2	<p>また、(別紙5)の1.(2)のとおり、経済財政諮問会議では我が国経済の潜在的な成長力の強化について取組を進めていくこととしておりますが、現場の実情や地域の視点から特に強化・加速すべきとお考えになる取組について具体的なご意見がございましたら300字以内でご記入をお願いいたします。</p>	-	<p>潜在成長力改善の一番大きな障壁は選挙制度である。国会議員、地方議員のインセンティブ改革は潜在成長のカギ。小生の提案は、(い)各代議士にその選挙区の人口比例で議決権を配分し、一票の格差を完全に正すこと、(ろ)「シルバー歪み」(高齢者の投票率が高いことから生まれる若者の絶望感)を直すために義務投票制度を導入すること。(オーストラリアは義務投票制を導入し、2013年の総選挙では投票率93%を達成)</p>